

シリーズ

「私の森語り」
もりかた森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介します。

「自然の遊びを通じた共育」

こどもの森幼稚園
副園長 宮崎 あつみ
「あっちゃん」と呼ばれています

■自己紹介

長野市生まれ。関東の大学を卒業後、地元長野市内に戻り、こどもの森幼稚園に就職。

現在は、こどもの森幼稚園で働きながら、長年の自然保育経験を活かし、学生や保育者の皆様に実践的な自然保育の授業や講習を行っています。

■活動内容

こどもの森幼稚園は、昭和五十八年に六名の園児で内田夫妻が手造りの園舎で開設した「こどもの森幼児教室」が始まりで、日本の森のようちえん発祥の地であり、四十一年の歴史があります。平成十七年には、学校法人いづな学園こどもの森幼稚園として認可



緑に囲まれた中にある園



園庭で自由に遊ぶ子ども達



されました。また長野県が推進している信州型自然保育認定制度においても、特化型の認定を受けている幼稚園です。

長野駅から車で三十分程、標高一、〇五〇メートルの飯綱高原に位置し、周囲を山、川、森に囲まれた豊かな自然の中にあります。園庭には、自然のままの沢、林、野原があり、沢にはサワガニ、ホタル、カエル、ヤゴ等が生息し、林や野原には様々な季節の野の花が咲き、多くの生き物(カナヘビ、クワガタ、ヘビ、ハチなど)と共生しています。



道草散歩の様子



雪の積もった園庭でソリ遊び

教育目標には、【豊かな自然の中で四季を感じながら遊びこむこと】【自分を大切にして好きなことに夢中になること】【対話の中で全ての存在を認め、命を大切にすることも】の三つを掲げています。

日々の園活動は、四季をはつきりと感じられる園庭での遊びを主軸としています。また、近隣の高原や森(戸隠高原や飯綱町)へ一日掛かりで出かける散歩があり、道草散歩を楽しんでいます。

■メッセージ

身近な自然(環境資源)を活かした保育を！

身近な自然を活かしながら、没頭して遊びこむことで、こどもの主体性、創造力、人間関係などが育っていきます。昨今、幼児期の遊びからの学びに多くの注目が集まり、例えば非認知能力(IQな

どで測れない内面の力)を育てることで、将来の生きる力の基礎を育むことができます。四十年前と変わらずここ飯綱高原で遊びを主軸とした体験を大切にしていきたいです。

保育は人である！共育(共に育つ大人と子ども)

子どもの可能性や能力を引き出すためには、そこに関わる大人の存在が特に大切であると私は思います。大人だから、先生だからという考えではなく、大人も子どもと共に育つ中で一緒に笑い、学び、時に考えながら様々な問いを楽しみたいと思っています。

■連絡先

学校法人
いづな学園 こどもの森幼稚園
長野県長野市上ヶ屋
二四七-二五五四

TEL: 026-239-2731
FAX: 026-239-2169
<https://www.iizuna-gakuen.info/>



いづな学園

こどもの森幼稚園の
SNSはこちら

@KODOMO_MORI